

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名		先導的都市環境形成促進事業		担当部局庁		都市局 水資源・国土保全局下水道部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		H20～		担当課室		都市局 市街地整備課 都市局 街路交通施設課 下水道部 下水道企画課		課長 望月 明彦 課長 西植 博 課長 長田 朋二	
会計区分		一般会計		施策名		9 地球温暖化防止等の保全を行う			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等		先導的都市環境形成促進事業制度要綱 先導的都市環境形成促進事業補助金交付要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		逼迫した地球環境問題へ対応した省CO2型の都市の構築を実現するため、集約型都市構造の実現に資する拠点的市街地等において地区・街区レベルにおける先導的な環境負荷削減対策を推進するために必要な補助を行うことにより、良好な都市環境の形成を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<ul style="list-style-type: none"> 先導型都市構造の実現に資する拠点的市街地等において、地区・街区レベルにおける先導的な都市環境対策を強力に進めるため、計画策定、コーディネート及び社会実験・実証実験等に対する支援を行う。(地方公共団体・都市再生機構1/2、民間事業者(間接補助)1/3) 拠点的市街地等における都市環境対策をより効果的に推進するため、低炭素型都市の実現に資する都市環境形成促進調査を実施する。 							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予 算 の 状 況	当初予算	300	400	640	494	482	
			補正予算	49	0	0	0		
			繰越し等	△ 68	63	△ 204	209		
			計	281	463	436	703	482	
		執行額		277	438	392			
執行率(%)		98.48%	94.72%	89.98%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		当事業の目的は、今後の地区・街区レベルのまちづくりにおける環境負荷低減に向けた様々な可能性を検証するために、先導的な取組を推進することであり、確立された手法等により成果目標等を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		地区・街区レベルにおける包括的な都市環境対策に取り組んでいる都市数		活動実績 (当初見込み)	都市	15	18	25 (25)	- (28)
単位当たりコスト		6.6 (百万円/都市数)		算出根拠		平成22年度における先導的都市環境形成促進事業費補助金の執行額を事業実施都市数にて割った値 246百万円 ÷ 37都市 = 6.6			
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	先導的都市環境形成促進事業費補助金		243	210	先導的都市環境形成促進事業費補助金の減(△33百万円)				
	地球温暖化防止等対策調査費		251	272					
計		494	482						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・先導的都市環境形成促進事業費補助金について、平成22年度行政事業レビューの予算監視・効率化チーム所見を踏まえ、類似の社会実験が複数地区ある場合に先導性の高い地区に優先配分等により、平成23年度事業実施数を28（前年度37）に重点化。先導アドバイザー会議において、事業実施地区を検証。</p> <p>・都市環境形成促進調査について、発注先の選定にあたっては、平成22年度行政事業レビューの予算監視・効率化チーム所見を踏まえ、企画競争による手続きにおいて、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、提案の特定にあたり外部の学識経験者からなる企画競争有識者委員会から意見を聞くこととし、より透明性・公平性の確保を図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善 ④ ⑤	<p>・先導的都市環境形成事業費補助金については、低炭素型の都市づくりを推進するという政策目的に照らして先導性の高い事業が採択されるよう、戦略的な目標や優先順位を採択基準として具体的に設定して、事業の重点化を図る。先導となる団体は絞り、その成果等を受けて他地域がそれに誘導されるよう調査を構成すべき。</p> <p>・事業実施の効率化については一定の改善が認められる。引き続き不断の改善を行う。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>・引き続き、先導性の高い取組に重点化を図るとともに、競争性・透明性の高い方式により事業者の選定を行う。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			